

研究室での ネットワーク設定 マニュアル

～WindowsXP編～

本マニュアルは以下の説明を行っています。

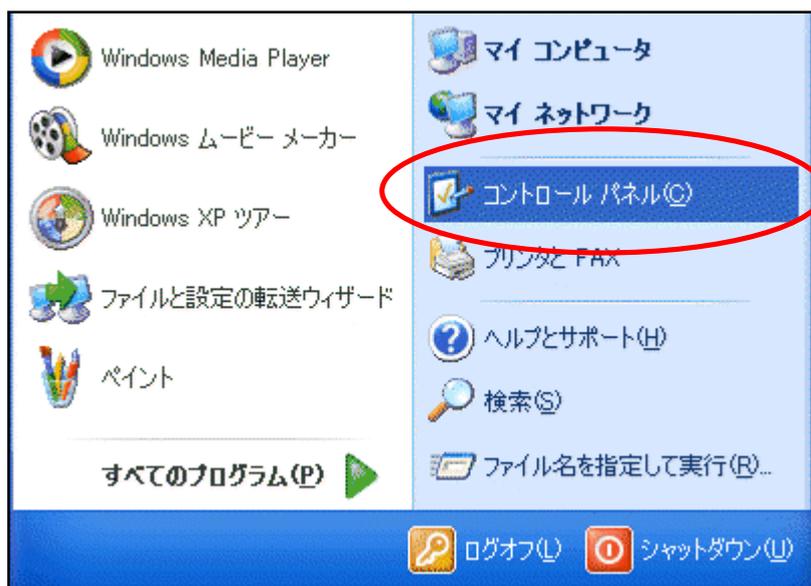
- ◆ネットワーク設定
 - ・IP アドレス
 - ・サブネットマスク
 - ・デフォルトゲートウェイ
 - ・DNS
 - ・コンピュータ名
- ◆インターネット設定(InternetExplorer6.0)
 - ・プロキシ
- ◆時刻同期設定
 - ・NTP

1. WindowsXP のネットワーク設定

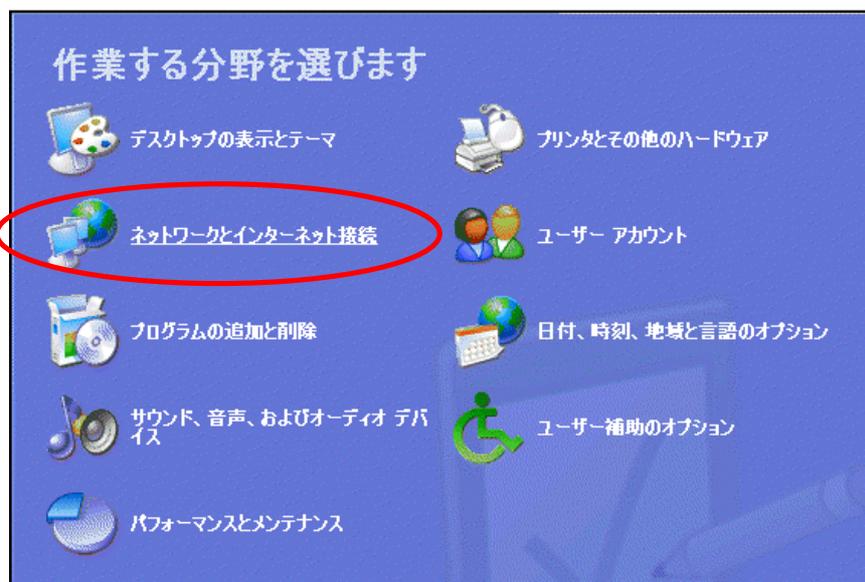
新しいネットワークアダプタをインストールすると、ローカルエリア接続が作成されます。「IP アドレス」・「サブネットマスク」・「デフォルトゲートウェイ」・「DNS」・「ドメイン(DNS サフィックス)」の設定を行います。

※研究室等でのインターネット接続は事前登録が必要となります。情報センターへお問い合わせ下さい。

(1) スタートボタンから[コントロールパネル]を選択します。



(2) [ネットワークとインターネット接続]を選択します。



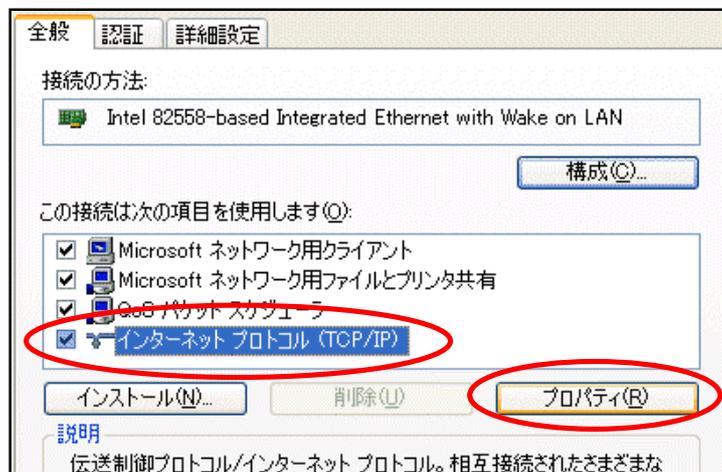
(3) [ネットワーク接続]を選択します。



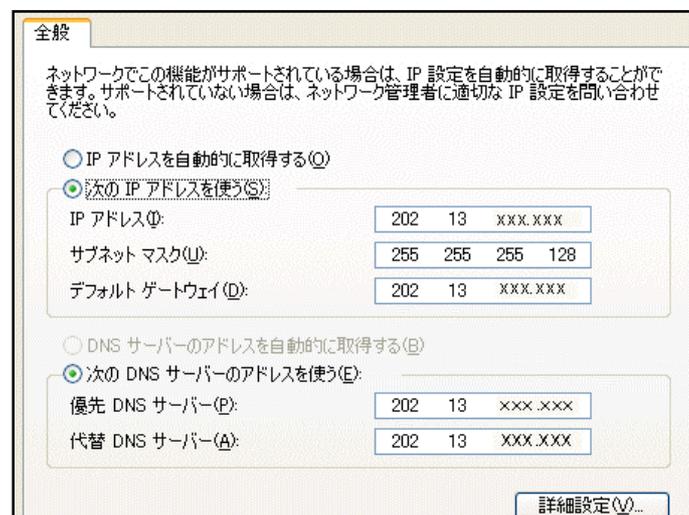
(4) [ローカルエリア接続]を右クリックして[プロパティ]を選択します。



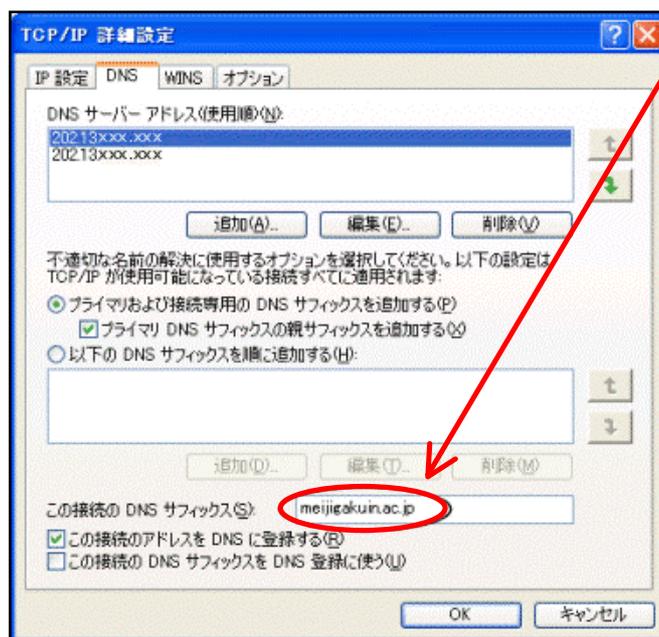
(5) [全般]タブより[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択してから[プロパティ]を選択します。



(6) [次の IP アドレスを使う(S)]と[次の DNS サーバーのアドレスを使う(E)]にチェックを入れます。登録完了通知書を参照し、「IP アドレス」・「サブネットマスク」・「デフォルトゲートウェイ」・「DNS サーバー」のアドレスを間違えのないように注意して入力します。
※xxxで表現されているところには、数字が入ります。



- (7) [ドメイン(DNS サフィックス)]は上記の[画面詳細設定(V)...]のボタンを押します。
 [DNS]タブを選択し[この接続の DNS サフィックス(S)]に『meijigakuin.ac.jp』を入力します。



2. 「コンピュータ名」の設定

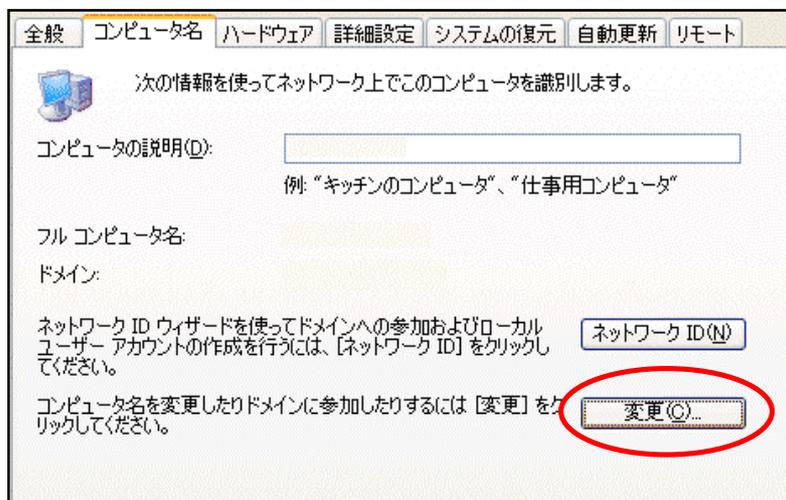
- (1) コントロールパネルの中にある[パフォーマンスとメンテナンス]を選択します。



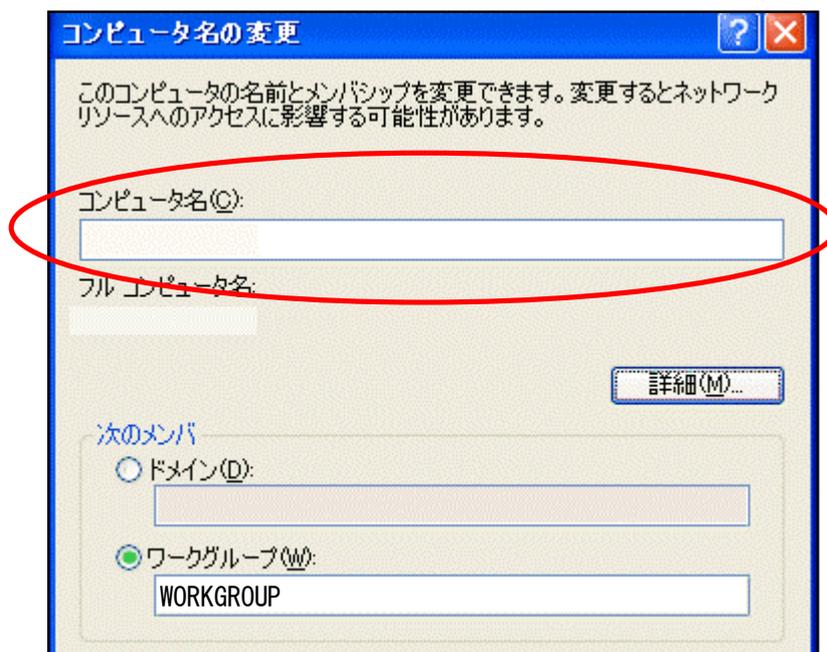
- (2) [システム]を選択します。



- (3) [コンピュータ名]タブから[変更...]ボタンを押してコンピュータ名の変更を行います。



- (4) [コンピュータ名]の欄に、登録完了通知に書いてある[ホスト名]を入力します。
※設定を完了すると、「再起動」が必要となります。



3. Internet Explorer6.0 の設定

本学では、プロキシサーバーを用いてインターネットに接続しているため、ホームページを閲覧するためにプロキシの設定が必要になります。

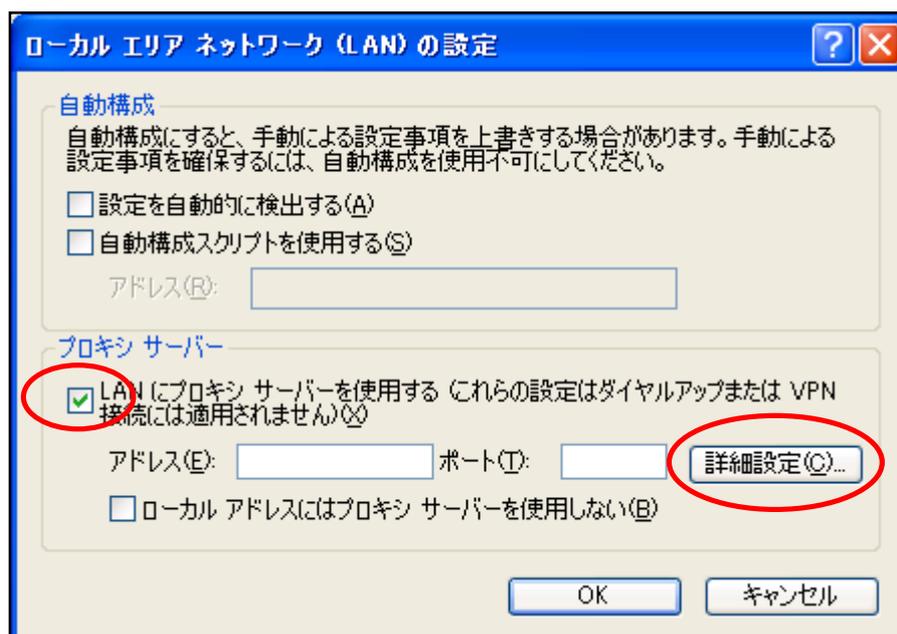
- (1) Internet Explorer 6.0 を起動します。
- (2) [ツール]メニューから[インターネットオプション]を選択します。



- (3) インターネットオプションダイアログが開いたら[接続]タブを選択します。
続いて[LAN の設定(L)…]を選択します。



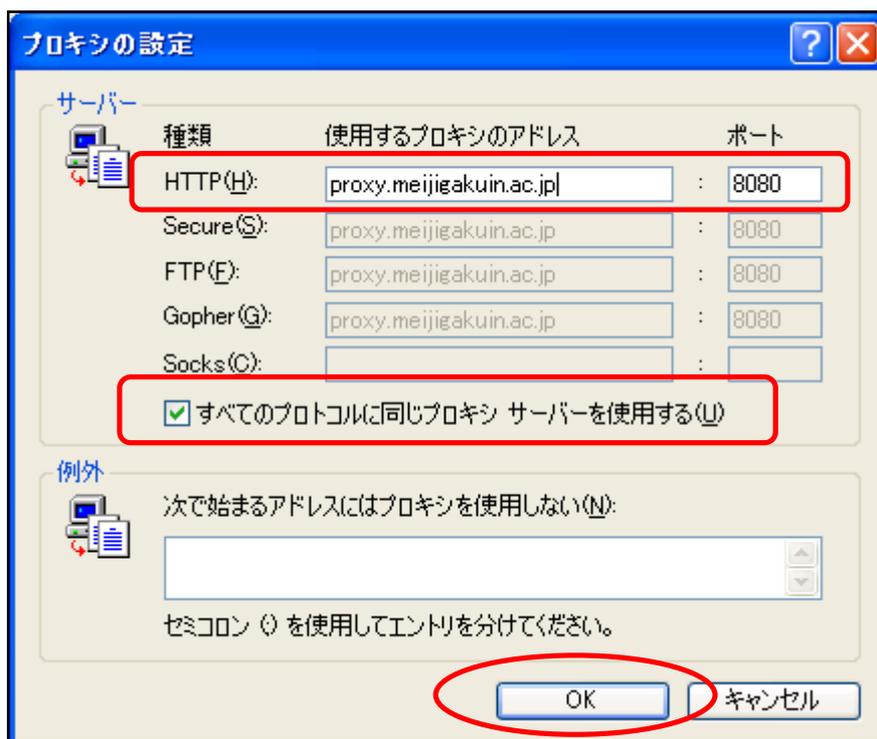
- (4) [LAN にプロキシサーバーを使用する]にチェックを入れ[詳細設定(C)…]をクリックして下さい。



(5) アドレスとポートの欄にプロキシサーバのアドレス、ポートを入力してください。
 入力する値は、利用する目的や所属によって下記のように異なります。

研究利用(専任教員)	アドレス: proxy.meijigakuin.ac.jp	ポート: 8080
教育利用(非常勤教員)		
白金校舎から接続する場合	アドレス: proxy1.meijigakuin.ac.jp	ポート: 8080
横浜校舎から接続する場合	アドレス: proxy2.meijigakuin.ac.jp	ポート: 8080

HTTP の所にプロキシアドレスとポートを入力し[すべてのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用する]にチェックを入れOKボタンをクリックします。



※明治学院大学以外のホームページの URL を入力し動作確認を行ってください。

3. 時刻同期(NTP)設定

NTPとは？

NTP(Network Time Protocol)とは、コンピュータ内部時刻をネットワークを介して正しく調整するプロトコル(コンピュータ間でデータ通信を行う際の規約)です。

NTPを組み込んだサーバは階層構造を持ち、最上位のサーバが原子時計やGPS受信機などを使って自分自身の時刻情報を常に修正して、下位のホストはそれを参照することで時刻を合わせます。

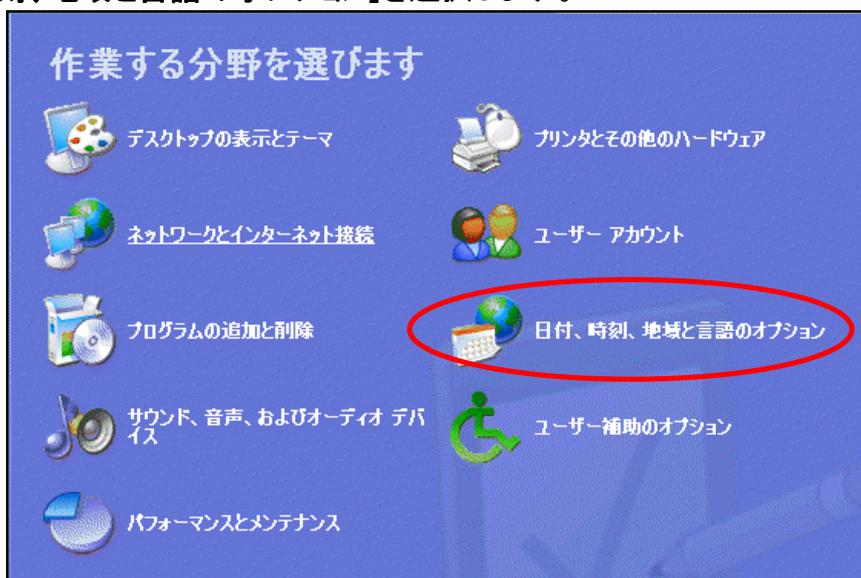
なぜ時刻同期が必要なのか？

パソコンの内部時計の精度は非常に低いので、放っておくとすぐに何分も狂ってしまいます。内部時計が狂ったままでは、ネットワークが一般的になった現在、情報のやりとりに支障が生じる場合があります。例えば、電子メールの送信時間にズレが生じるといったときです。時刻情報の狂った機械をそのまま使うこと自体、ある種のマナー違反、という考え方もあります。

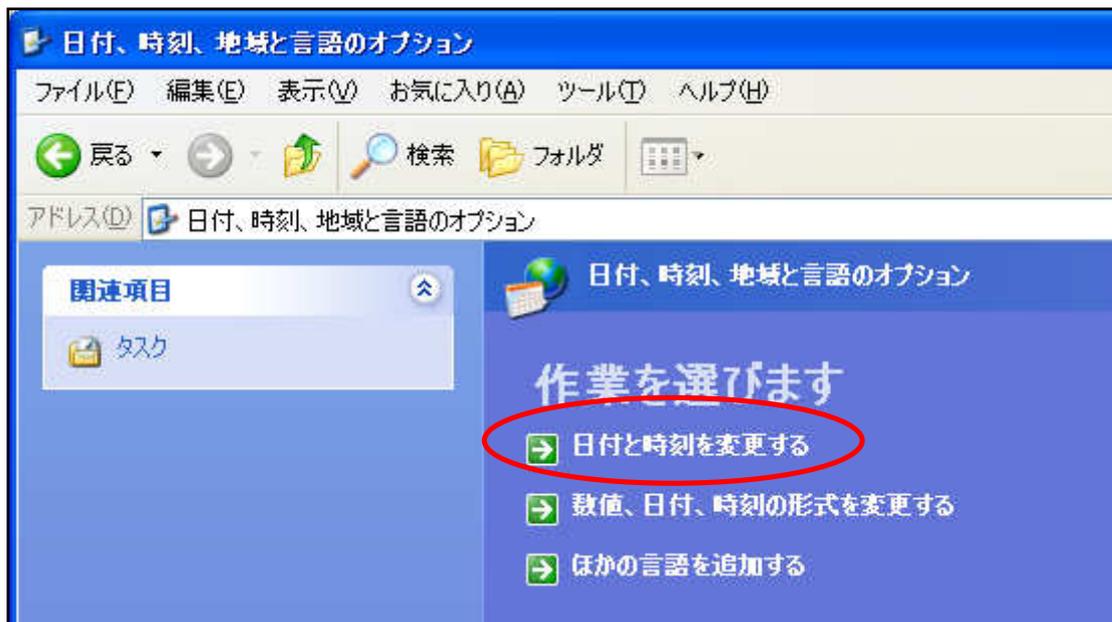
(1) スタートボタンから[コントロールパネル]を選択します。



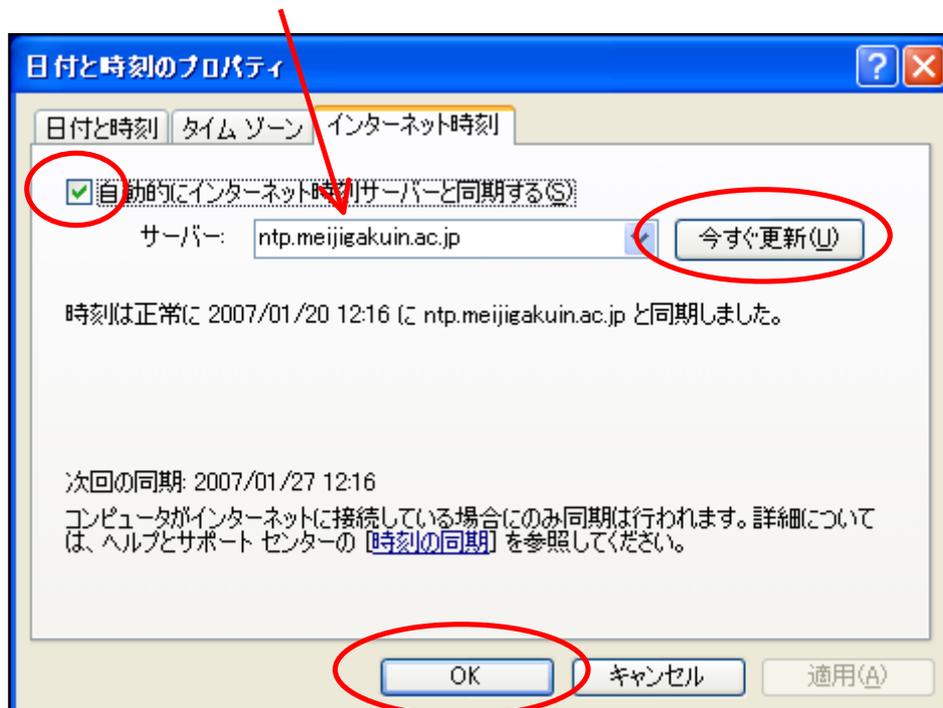
(2) [日付、時刻、地域と言語のオプション]を選択します。



(3) [日付と時刻を変更する]を選択します。



(4) [インターネット時刻]タブをクリックし、[自動的にインターネット時刻サーバーと同期する]にチェックボックスにチェックを入れます。
サーバーに『ntp.meijigakuin.ac.jp』を入力します。[今すぐ更新(U)]をクリックします。



※時刻は正常に「(同期された日付が記載)に ntp.meijigakuin.ac.jp と同期しました。」と表示されていることを確認してください。

(5) [適用]をクリックし、[OK]をクリックします。

これですべての設定が完了となります。